

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	公共下水道維持管理事業(雨水)		担当部署	経済建設部 下水道課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	都市計画法・下水道法・鳴門市 下水道条例	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	昭和 <input type="text" value=""/> 43 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なる			終期
(小項目)					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 撫養町斎田・南浜・小桑島・大桑島地区による、撫養排水区。						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	台風・大雨時における市街地の浸水被害を未然に防止し、市民生活の機能維持と安全確保を図る。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理を図るため、ポンプ施設、管渠等について、優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を進める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		管渠等の耐震化・長寿命化割合	30	40	50	60	65	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	国庫補助金(社会資本整備曠劫交付金)を活用し、撫養ポンプ場の耐震・津波対策設計とポンプ施設及び老朽管渠の長寿命化工事に着手した。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	管渠等の耐震化・長寿命化割合	35	43	50	60	65	%
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	管渠等の耐震化・長寿命化割合		35	43	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			107.5	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況			ほぼ計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	50,000	0	55,000	0	(4,668)	100,332
		全体予算額	74,659	0	79,600	0	(4,608)	149,651
		決算額	40,510	0	40,803	0	0	81,313
		繰越額	34,149	0	34,100	0	52	68,301
	人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費	
		1.0	0.0		6,859		88,172	

【事務事業名：公共下水道維持管理事業(雨水)】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	69,427	81,313	100,332	-	-
	うち一般財源	(3,029)	0	(4,668)	-	-
	人件費	6,517	6,859	6,859	-	-
	総事業費	75,944	88,172	107,191	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった		施設の耐震化・長寿命化が図れるため、災害の未然防止や円滑な維持管理が図れる。
	効率性	B:概ね効率的だった		適正な維持管理を図るため、優先度の高い施設から耐震化を含めた長寿命化を進める。
②成果に対する評価	指標名	管渠等の耐震化・長寿命化割合		国の予算(満額)交付決定が遅れたことにより、一部繰越となったが、管渠の耐震化・長寿命化は進捗した。
	目標	40	%	
	実績	43	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		ポンプ場の耐震・津波対策設計および一部事業は繰越となったが、管渠の長寿命化については進捗したためB評価とした。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	現在、施設の長寿命化に着手しているのは撫養排水区のみであるが、今後は撫養西部排水区、高島排水区も同様に調査し検討する必要がある。 排水区によっては、管渠等の建設が未整備区間もあり、整備済みのポンプ施設についても計画排水量を満足するものでなく一部供用であるため、十分な検討が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理を図るため、ポンプ施設、管渠等について、優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を進める。			
	平成29年度	災害の未然防止や、施設の円滑な維持管理を図るため、ポンプ施設、管渠等について、優先度の高い施設から耐震化、長寿命化を進める。			